

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 11 月 22 日 (2007.11.22)

【公表番号】特表 2007-523055 (P2007-523055A)

【公表日】平成 19 年 8 月 16 日 (2007.8.16)

【年通号数】公開・登録公報 2007-031

【出願番号】特願 2006-536659 (P2006-536659)

【国際特許分類】

A 6 1 K 9/00 (2006.01)

A 6 1 K 31/77 (2006.01)

A 6 1 K 31/78 (2006.01)

A 6 1 K 31/785 (2006.01)

A 6 1 K 31/775 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 9/00

A 6 1 K 31/77

A 6 1 K 31/78

A 6 1 K 31/785

A 6 1 K 31/775

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 35/00

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/32

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 9 月 19 日 (2007.9.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

脈管閉塞デバイス ( 1 0 ) において：

ルーメンを有する閉塞部材 ( 2 0 ) と；

前記ルーメン ( 2 0 ) 内に配置された薬剤キャリア ( 1 4 ) であって、身体内の生物学的反応を顕在化させる生物活性薬剤を具えるあるいは搬送する薬剤キャリアと；  
を具え、

前記薬剤キャリア ( 1 4 ) が更に、前記ルーメン ( 2 0 ) 内に搬送される活性エレメントを具え、当該活性エレメントが身体内に配置されたときに膨張あるいは緊縮し、これによって身体キャビティ内で展開されたときに前記閉塞部材の形状を実質的に維持することを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 2】

請求項 1 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) が前記閉塞部材に固着されていることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記生物活性薬剤がホモポリマ、コポリマ、あるいはこれらの組み合わせを具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 4】

請求項 3 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記生物活性薬剤が、ポリエステル、アクリル酸、ポリエーテル、ポリシロキサン、ポリウレタンおよびポリカーボネートのうちのーまたはそれ以上を具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 5】

請求項 1 又は 2 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) と生物活性薬剤のうちのー方あるいは双方が、合成ポリマ、ポリサッカリド、およびたんぱく質のうちのーまたはそれ以上を具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) と生物活性薬剤のうちのー方あるいは双方が、ポリグリコール酸、ポリ乳酸、ポリカプロラクトーン、ポリヒドロキシアルカノエート、ポリジオキサノン、ポリ(トリメチレンカーボネート)、ポリ無水物、およびポリアミノ酸、およびこれらのコポリマのうちのー又はそれ以上を具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) および生物活性薬剤のー方、あるいは双方が、ポリ( g - エチルグルタミン酸)、ポリ( D T H イミノカーボネート)、ポリ(ビスフェノール A イミノカーボネート)、及びポリアリーレート、およびこれらのコポリマのうちのーまたはそれ以上を具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 8】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) が細長形状であることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 9】

請求項 1 ないし 7 のいずれか 1 項に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記閉塞部材がコイル ( 1 2 ) であることを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) がコイル形状を有することを特徴とする脈管閉塞デバイス。

【請求項 11】

請求項 1 ないし 10 のいずれか 1 項に記載の脈管閉塞デバイスにおいて、前記薬剤キャリア ( 1 4 ) が前記生物活性物質を吸着または吸収する物質を具えることを特徴とする脈管閉塞デバイス。